

【教員氏名】

篠原 千佳

【単位数】

2 単位

【演習概要】

この講義は、「世界市民」であるための基礎知識を提供し、近年のグローバル化社会に見られる現象と問題を社会的に考察する。近代・現代社会の現象と問題を、国内のみならず国外の現状や海外からの視点も学びながら検証したい。トピックとしては、国際移民、人種・エスニシティー（民族）、ナショナリズム、国際社会とジェンダー、多文化社会と共生、市民権、国際政治機関と非政府組織、グローバル化と宗教などを予定している。

【学習目標】

最近のグローバル化する社会で起こっている現象や問題について、法・制度の変化と影響を考えながら、社会的に理解・分析する基礎能力を育てることを目標とする。この学期の最終目標は、「世界市民」であるための基礎知識を習得し、価値観の多様化する現代の社会現象・問題を多角的な視点で社会的に理解・分析できるようになることである。

【講義計画】

- 第1回：講義紹介
- 第2回：世界市民とは
- 第3回：グローバル化と宗教
- 第4回：国際人口移動の加速化と多様化
- 第5回：多文化社会ーナショナリズム、同化政策から編入へ
- 第6回：多文化共生ニッポンー日本人とは
- 第7回：これまでのまとめと復習
- 第8回：国際組織と制度ージェンダーと市民権を例に
- 第9回：グローバル化と日本における市民権の拡大
- 第10回：日本社会と移民ー労働移民排出国から難民受入国へ
- 第11回：日本社会と移民ー在日コリアンの社会学
- 第12回：韓国社会と国際移動ー労働、養子、結婚、留学
- 第13回：移民の国アメリカ社会ー移民の国の移民政策と文化
- 第14回：学期のまとめと復習
- 第15回：試験準備

【成績評価の方法】

基礎用語・論述試験 60% 課題（講義時間内に提出） 40%
 授業中の参加・貢献（課題）と講義・教科書・文献の内容理解を試験で確認し総合的な判断で評価する。毎回講義時間内外の課題に取り組み、積極的に授業参加・貢献することに加えて、協調性を持って他の受講生ともコミュニケーションをとり理解を深める事が求められる。

【テキスト】

樽本英樹（著）『よくわかる国際社会学』ミネルヴァ書房、

【参考文献】

その他の参考文献は講義時間内に指示する。

【準備学習の指示】

講義時の指示に従い、教科書と関係資料を毎回必ず予習・復習し授業に臨むこと。基本的には、教科書の該当する章（週に平均20ページほど）を熟読し、授業中の課題に取り組めるよう準備しておくこと。講義時間内外での提出課題は個人、ペア、グループ・ワークなど多様であり、自立心と積極性に加えて協調性が求められる。